

2026年8月期決算説明会資料

株式会社エヌ・ピー・シー（グロース：6255） 2026年10月9日

INDEX

1. 2026年8月期業績
2. 中期経営計画
3. 2027年8月期業績予想

2026年8月期業績

2026年8月期 決算概要 連結損益計算書

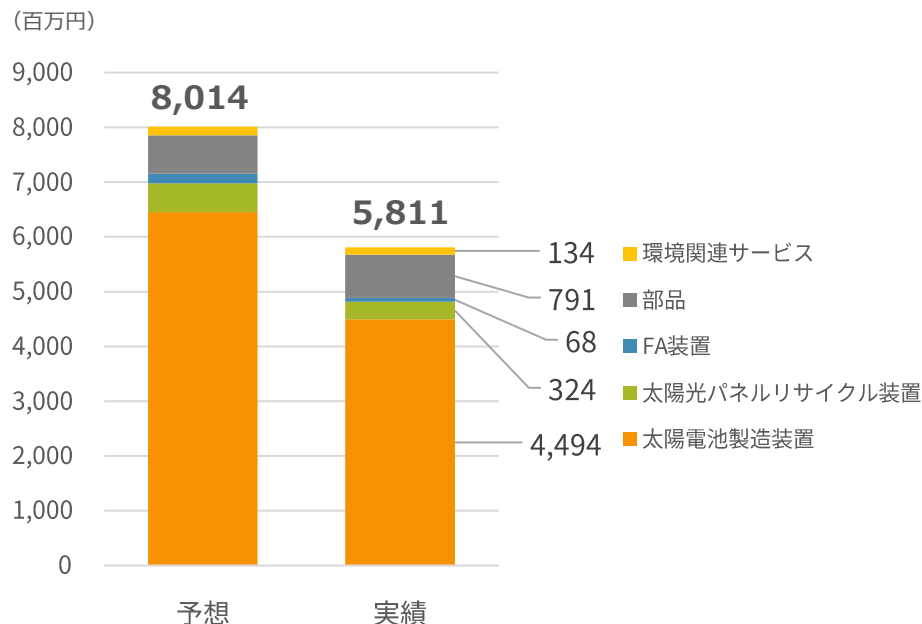
(単位：百万円)

	2025年8月期		2026年8月期					
	実績		期初予想 (2025.10.9)		実績			
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	期初 予想比(%)
売上高	9,272	100.0	8,014	100.0	5,811	100.0	△37.3	△27.5
売上総利益	3,101	33.4	1,952	24.4	2,025	34.8	△34.7	3.7
販売管理費	1,180	12.7	1,192	14.9	1,178	20.3	△0.2	1.2
営業利益	1,920	20.7	760	9.5	846	14.6	△55.9	11.3
営業外収益	21	0.2	11	0.1	43	0.7	104.8	290.9
営業外費用	19	0.2	4	0.1	9	0.2	△52.6	125.0
経常利益	1,922	20.7	766	9.6	880	15.1	△54.2	14.9
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	177	3.0	-	-
税引前当期純利益	1,922	20.7	766	9.6	702	12.1	△63.5	△8.4
法人税等	535	5.8	235	2.9	142	2.4	△73.5	△39.6
法人税等調整額	61	0.7	-	-	79	1.4	29.5	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,325	14.3	531	6.6	481	8.3	△63.7	△9.4

(注) 前期比及び期初予想比はその増減比です。

2026年8月期 決算概要 予想と実績の比較

売上高



■主な売上案件

- ・ 国内向け大型案件（一部は来期売上）
- ・ First Solar社向け装置の移設作業及び改造案件
- ・ 国内向けペロブスカイト開発装置
- ・ 太陽光パネルリサイクル装置
フレーム・J-Box分離装置（国内3台、海外2台）
ガラス分離装置（国内2台、海外1台）
EVAスクレーパー（国内1台）

■予想と実績の差異

- ・ 国内向け大型案件でスケジュール遅れにより一部検収が上がらず（約1,200百万円）
- ・ First Solar社の一部の改造案件において、並行して行われている大規模な装置の移設作業との兼ね合いから改造の実施が後ろ倒しになった
- ・ 太陽光パネルリサイクル装置では補助金申請の関係等で主に国内向け案件で受注が後ろ倒しとなり、来期の売上となったものが複数あり

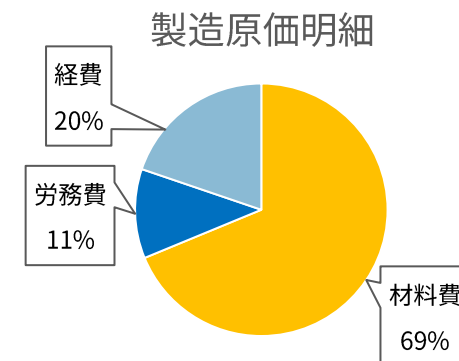
2026年8月期 決算概要 予想と実績の比較

利益

■売上総利益率の改善（24.4%→34.8%）

利益率の高い案件（移設・改造）があったことに加え、新技術や開発要素を含む案件において製造原価に占める割合の高い「材料費」を削減

- ・加工品のグローバル調達拡大等によるサプライチェーンの最適化
- ・複数案件で共通で利用できる部品（制御機器・検査システム等）の一括発注によるスケールメリットの活用
- ・設計部門による仕様や装置構成の見直し



■親会社株主に帰属する当期純利益への影響

ベンチャー企業であるGosan社の非上場株式について、特別損失として投資有価証券評価損177百万円を計上

- ・出資者側（NPC）に適用される会計ルールによる処理
- ・ペロブスカイトの前工程での当社業績拡大が最大の目的であり、既に投資額を上回る受注を獲得し順調に推移

配当

今期業績は、検収時期の期ずれが主因であり、原価低減策が成果を上げて収益基盤は堅調に推移
そのため、株主還元は従来の予定どおり、期末配当として**1株当たり10円**を見込む

2026年8月期 決算概要

受注高・受注残高

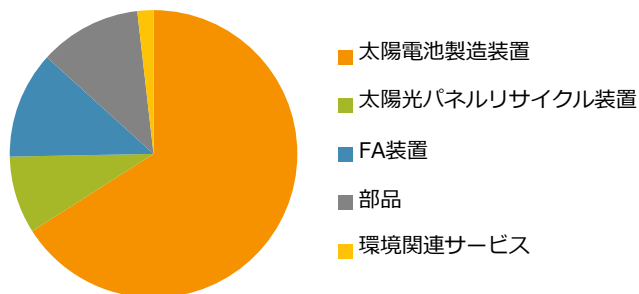
(単位：百万円)

	2025年8月期		2026年8月期			
	受注高	受注残高	受注高	前期比(%)	受注残高	前期比(%)
合計	7,916	6,723	6,509	△17.8	7,421	10.4

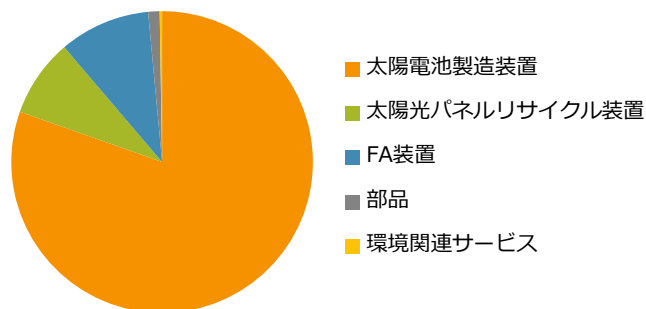
(注) 前期比はその増減比です。

受注高及び受注残高の内訳

受注高の内訳



受注高残の内訳



■主な受注案件

太陽電池製造装置

- ・ First Solar社向け装置移設作業、改造案件、ペロブスカイト開発装置
- ・ 前工程向けインクジェット塗布装置
- ・ 米国顧客向け改造案件
- ・ 国内向けペロブスカイト関連案件
- ・ 国内向け衛星用太陽電池製造装置

太陽光パネルリサイクル装置 約500百万円

- ・ フレーム・J-Box分離装置 (国内4台、海外1台)
- ・ ガラス分離装置 (国内3台)
- ・ EVAスクレーパー (国内5台)
- ・ 割れガラス分離装置 (国内2台) (2026年4月リリース新製品)

FA装置

- ・ 国内電子部品メーカー向け案件 (今後も継続が見込まれる大型案件)
- ・ 梱包装置、特注真空包装機など (いずれも国内企業)

2026年8月期 決算概要 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2025.8末	2026.8末		2025.8末	2026.8末
資産	12,911	13,881	負債	2,075	3,215
流動資産	9,649	10,844	流動負債	1,972	3,083
現預金	6,421	3,597	買掛金・電子記録債務	1,063	805
受取手形・売掛金・電子記録債権	1,962	4,135	未払法人税等	263	36
仕掛品	1,044	2,637	前受金	287	1,560
原材料・貯蔵品	21	9	引当金	122	139
その他	199	464	その他	235	540
固定資産	3,261	3,037	固定負債	103	131
建物・構築物（純額）	1,313	1,156	純資産	10,835	10,666
土地	1,548	1,548	資本金・資本剰余金	5,566	5,567
その他	400	333	利益剰余金	5,396	5,661
			自己株式	△263	△745
			その他	135	183

特記事項

- ・前受金は増加したものの、国内大型案件の仕入れが先行したため現金が前期末と比べて減少
- ・約5億円（発行済株式総数の約3.2%相当）の自己株取得を実施

中期経営計画

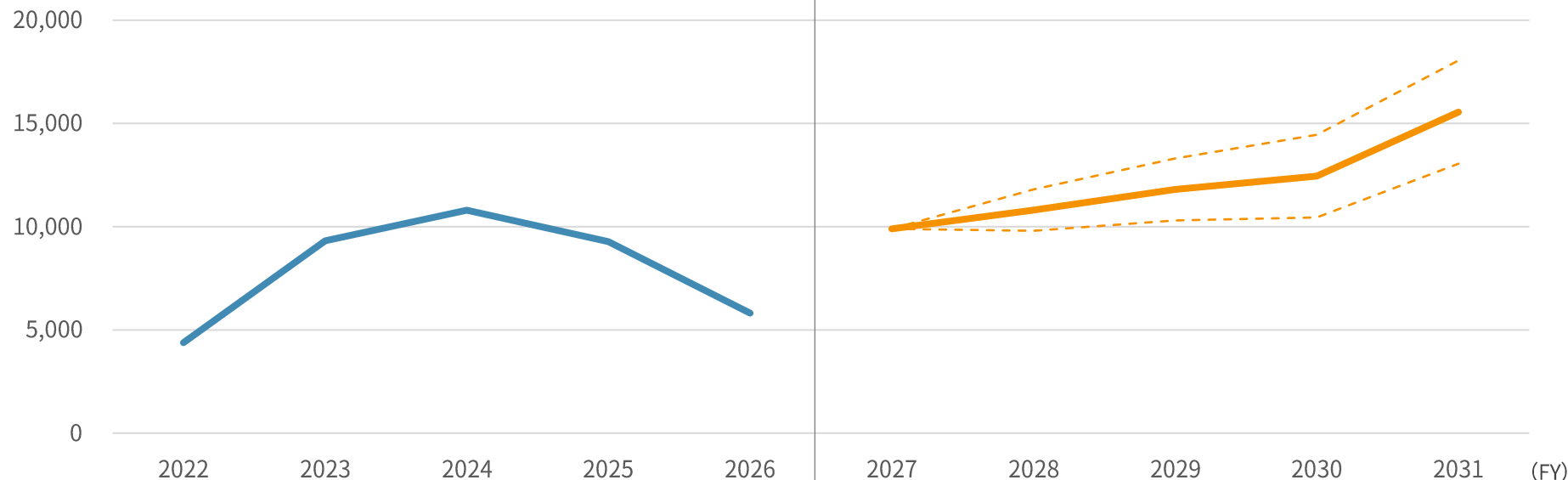
方針

変動が大きい業績を安定化させ、持続成長できる事業基盤を確立

売上高
(百万円)

現在の姿

目指すべき姿



業績の変動大

- 短期業績の見通しが不透明
- 株主資本コストに影響
- 投資や株主還元に踏み切りにくい

業績の安定化と持続的な成長を両立

- 株主資本コストの低減
- 株式市場からの適正な評価の獲得
- 積極的な投資と安定的な株主還元

課題とKPI

現在の課題

テーマ／取り組み

KPI／目標

売上・利益
の変動性

成長市場での事業拡大（安定的な成長）：
ペロブスカイト、太陽光パネルリサイクル
への取り組み強化

年平均売上高成長率：
10%以上

特定顧客への偏重解消：
顧客・市場ポートフォリオの多様化

FS社以外の売上高比率：
60%以上

収益性の安定化：
スタンダード製品及びストックビジネスの強化

売上総利益率：
30%程度を維持

投資規模の拡大：
生産能力・技術力の向上と経営基盤の強化

投資額：
5年間で約40億円

キャッシュ
アロケーション

株主価値の向上：
株主還元の強化および安定化

配当性向：25%
(下限：DOE2%)

事業における取り組み

成長市場での事業拡大

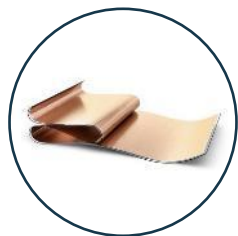
当社の技術と実績

- ・ 薄膜太陽電池製造装置での豊富な実績・技術
- ・ 太陽光パネルリサイクルの独自技術
- ・ 多岐に渡る仕様に対応できる技術力・生産能力

×

成長市場

- ・ First Solar社および国内太陽電池メーカーへのペロブスカイト太陽電池向け製造装置の提供
- ・ 太陽光パネルリサイクル装置の販売



ペロブスカイト
太陽電池製造装置



太陽光パネル
リサイクル装置

顧客・市場ポートフォリオの多様化

得意とする太陽電池業界以外でも事業を拡大

- ・ 好調な電子部品業界および半導体関連業界の取り込み
- ・ 実績が増えている自動車業界での更なる拡大
- ・ 廃棄物処理業界に向けた省力化・自動化装置の提供等

スタンダード製品の拡大

自社製品のラインナップの増加 × 製品力の向上



真空ラミネーター



太陽光パネル
リサイクル装置



廃棄物自動化装置

中期経営計画 – 目標

5 年間の中期業績見通し

(単位：百万円)

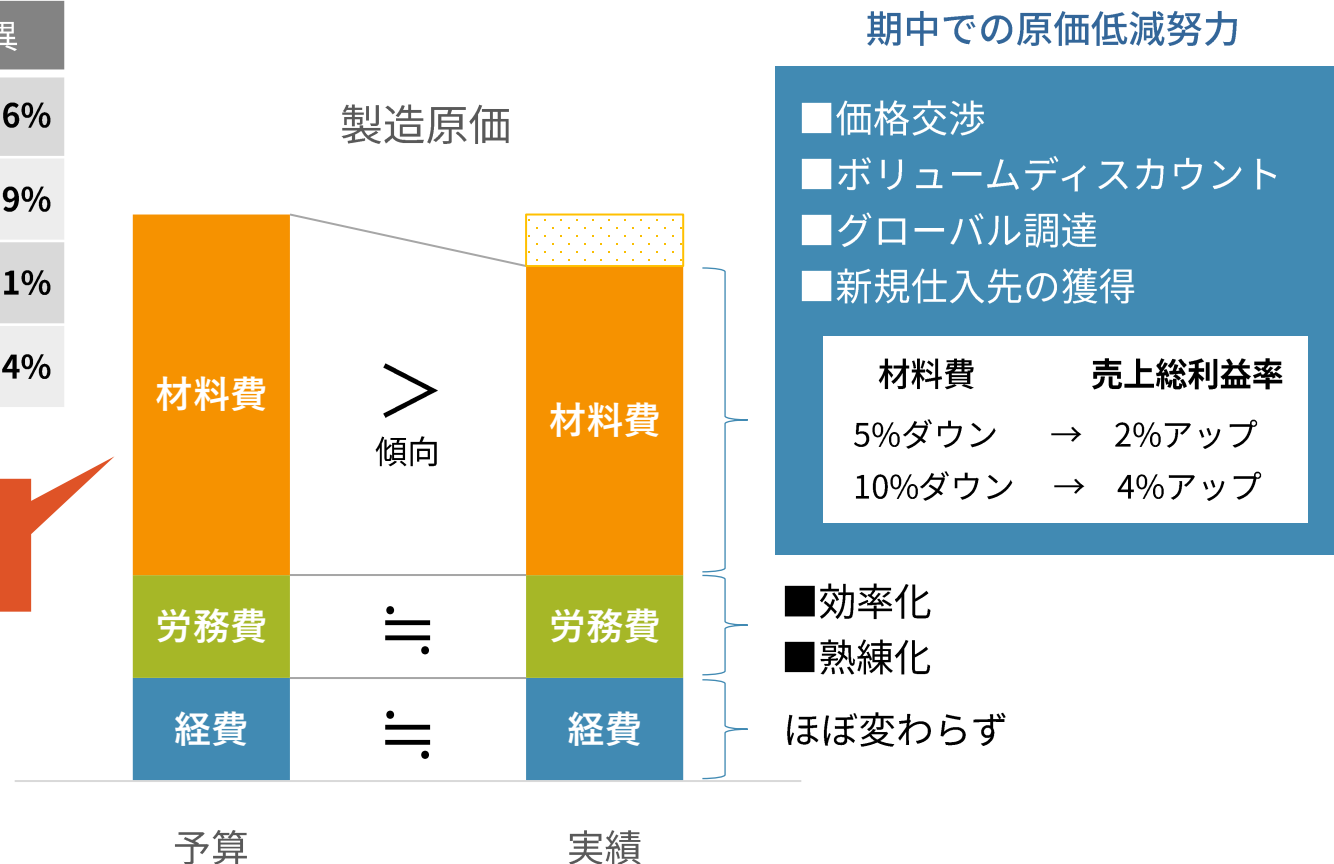
	FY2027 E	FY2028 E	FY2029 E	FY2030 E	FY2031 E	5年合計	5年平均
売上高	9,895	10,800	11,800	12,450	15,550	60,495	12,099
太陽電池製造装置	5,837	4,700	6,000	8,000	9,800	34,337	6,867
太陽光パネル リサイクル装置	831	1,500	2,000	2,400	3,000	9,731	1,946
FA装置	2,384	3,800	3,000	1,200	1,700	12,084	2,417
部品	717	600	600	650	850	3,417	683
環境関連サービス	125	200	200	200	200	925	185
売上総利益率	27.4%	28.6%	29.1%	31.0%	31.0%	29.6%	29.6%
販売管理費	1,329	1,380	1,420	1,480	1,530	7,139	1,428
営業利益	1,380	1,714	2,009	2,385	3,295	10,783	2,156
当期純利益	826	1,183	1,386	1,646	2,274	7,315	1,463
ROE	7.5%	10.0%	10.8%	11.7%	14.5%		10.9%

利益の予算と実績の差異が発生する主な要因

(参考)売上総利益率の予実比較

	予算	実績	差異
FY2023	14.3%	20.9%	6.6%
FY2024	25.2%	33.1%	7.9%
FY2025	29.3%	33.4%	4.1%
FY2026	24.4%	34.8%	10.4%

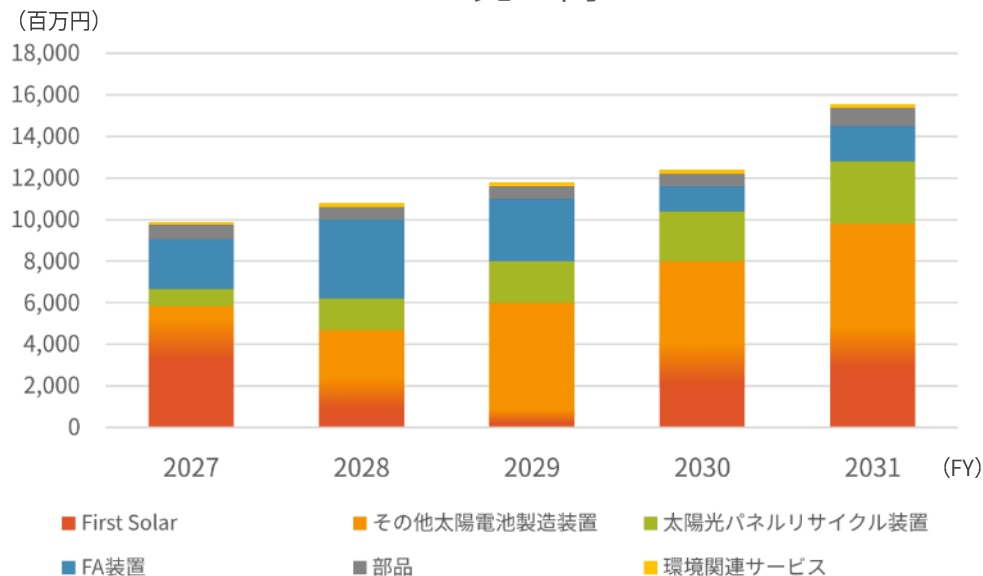
合理的な見込み金額
(価格交渉前・概算段階含む)



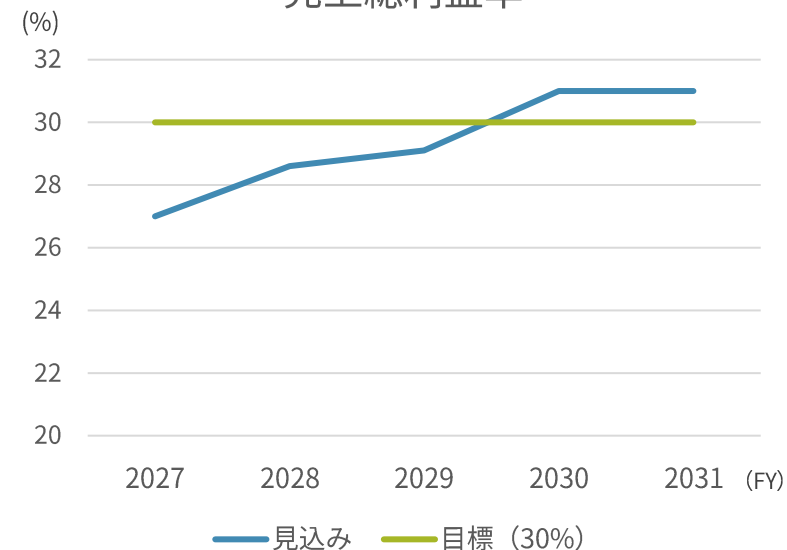
売上総利益率は予想を上振れる傾向があり、今期も原価低減に向けた取り組みを継続する

KPIの目標に対する見込みおよび想定される財務指標

売上高



売上総利益率



年平均売上高成長率

目標 : 10%以上
見込み : 12.0%

FS社以外の売上高比率

目標 : 60%以上
見込み : 70~75%

売上総利益率

目標 : 30%程度を維持
見込み : 29.6% (平均)

KPI達成により

想定される財務指標



- ✓ 5年間の合計営業CF : 73億円
- ✓ 5年間の平均ROE : 10.9%
- ✓ 5年目で過去最高益の獲得 (営業利益30億円以上)

First Solarの動向

2025年

2027年

既存製品の生産

同じ設備を全工場に水平展開

当社は新規装置の提供、
装置改造等を実施

次期製品（ペロブスカイト関連製品）の開発

ペロブスカイト太陽電池メーカー買収
Oxford PVとの特許ライセンス契約 等

当社は開発用装置、
パイロット向け装置等の提供

新製品の量産

開発の目途が立った後、製品化へ

前工程を含めた新規設備の提供、
既存設備の改造等
当社にとって大型案件獲得の機会

衛星用太陽電池市場

- ・ 2026年8月期に衛星用太陽電池製造装置を国内既存顧客よりリピート受注
- ・ 当社顧客の太陽電池メーカーは、ハイエンドでオーダーメイドの装置を必要とする太陽電池を製造
（当社の強みである領域）
- ・ 当社顧客が太陽電池を欧米の衛星メーカーへ提供
- ・ 今後も市場は欧米を中心として拡大していく見込みであり、受注に対する市場環境は良好

ペロブスカイトの国内装置市場

多くの企業が経済産業省関連(NEDO等)の支援を活用
進捗段階に違いはあるが各社開発が進行中

量産に 向けた段階	積水ソーラーフィルム、パナソニック等
開発の段階	東芝、アイシン、シャープ、長州産業、 カネカ、リコー、トヨタ自動車、 エネコートテクノロジーズ、等

将来の国内生産能力に関する定量的目安

日本政府目標
(2030年時点)

1GW

各社公表情報合計
(当社推計)

3GW前後
装置ニーズポテンシャル

※現状量産には至っておらず、装置ニーズはこれから

当社の実績や取り組み

前工程（インクジェット塗布装置）

- ・ 蒸着法やスピコート法に代わる成膜技術として、インクジェット方式への注目度が上昇
- ・ 資本提携したGosan Techの高精度な装置を提供（既に3.5億円規模の受注獲得済み）
- ・ 複数の国内企業と開発用装置として商談継続中

後工程（組立、搬送、検査装置等）

- ・ 薄膜系太陽電池の後工程における豊富な実績
- ・ 国内企業からはほぼ引き合いを受け、複数社に装置を納入済み
- ・ 2026年8月期に大型案件の実績あり

今後5年間
売上見込み



国内

160億円

海外

110億円

市場規模からの販売金額試算

太陽光パネルリサイクル装置は、景気変動や個別の顧客動向に左右されない『**不可避の需要**』
エヌ・ピー・シーの強みを活かし、リーディングカンパニーとして市場を牽引していく

唯一無二の特許技術

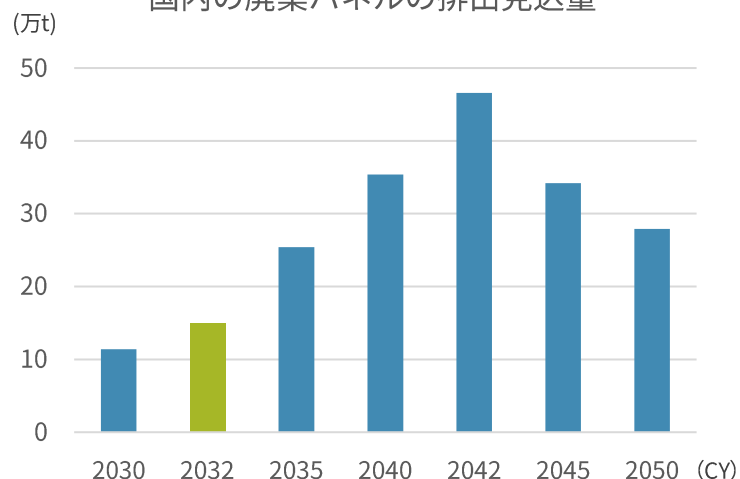
- ・ホットナイフ分離法®/ブラシかきとり法™の関連特許
- ・当社の技術でカバーガラスの水平リサイクルが実現
→水平リサイクルが必須となる再資源化高度化法の認定が受けられ、**業界のスタンダードとなりつつある**

不可避免的に発生するパネルリサイクルの需要

- ・リサイクル処理に関する法制度化（2027年末までに施行）
- ・リパワリング（性能が高いパネルへの置き換え）によるパネルの排出が先行
- ・FIT終了に向けた排出パネルの増加

×

国内の廃棄パネルの排出見込量



(出所：経済産業省「太陽光パネルのリサイクルを推進(2026.7.15)」を基に自社作成)

売上見込みの算出条件

外的要因

- ・2032年排出量（約15万トン）
- ・リサイクル対象のパネル比率
- ・顧客での装置稼働率 等

×

内的要因

- ・処理能力
- ・市場シェア
- ・装置価格 等

今後5年間
売上見込み



国内

85億円

海外

15億円

中期経営計画 – 太陽光パネルリサイクル装置

太陽光パネルリサイクル装置のラインナップと協力企業との入口・出口の確保

太陽光発電事業者
などと入口部分
を構築中

フレーム・
J-Box分離装置

ガラス分離装置
ホットナイフ分離法®

EVA スクレーパー
ブラシかきとり法™



太陽光パネル



ガラス&セル/EVAシート



関連特許取得済み



ガラス



関連特許取得済み



出口戦略（ガラス・金属リサイクル）の構築により装置販売拡大

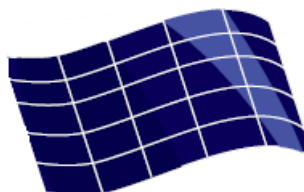


ジャンクション
ボックス



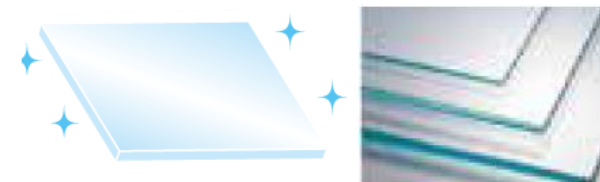
アルミフレーム

神鋼商事等にて
高価リサイクル



セル/EVAシート

ガラスの付着が無い
ため
DOWAにて高効率リサイクル



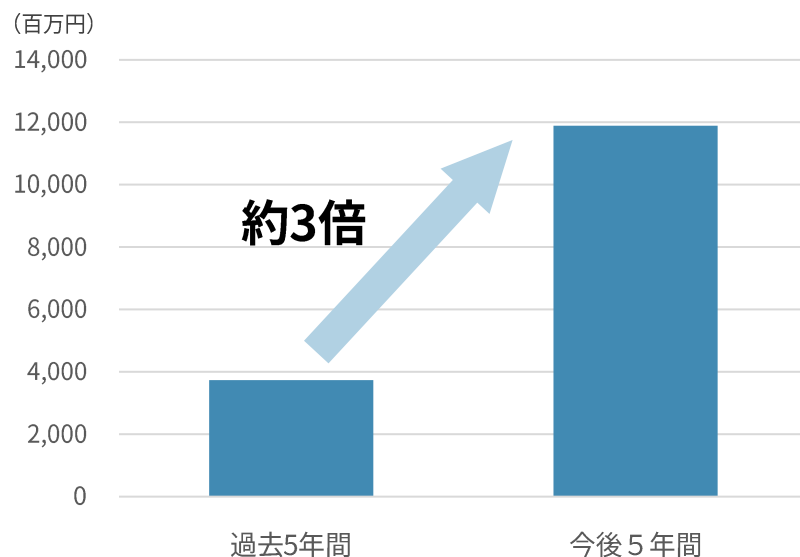
EVA除去ガラス

AGC・セントラル硝子
にて建築用ガラスへ水平リサイクル

オーダーメイドFA装置

- ・既存顧客の国内電子部品メーカーが投資を再開
AI・半導体市場の成長が後押しとなり、今後数年
継続見込み（2026年8月期に一部受注済み）
- ・自動車業界の案件で複数社と実績が増えている
引き合いが増加しており、今後も拡大していく

FA装置売上高（スタンダード装置を含む）



スタンダード装置

スタンダード装置のラインナップ拡大と販売強化

真空ラミネーター



- ・ペロブスカイトを含め、
様々な業界のR&Dで使用

廃棄物自動化装置



（上記画像は
ガラス瓶の選別装置）

- ・AIを用いた廃棄物の選別装置で
実績有
- ・廃棄物処理業界において
自動化・省人化ニーズ高
- ・他社よりも低コストで
導入可能なため優位性あり
- ・今後は選別装置以外の廃棄物
処理業界向け自動化装置にも
取り組む

部品

- ・ First Solar社向けの部品販売は横ばいの想定（米国への生産体制集約による在庫管理状況の変化）
- ・ 太陽光パネルリサイクル装置の販売増加に伴い、消耗品である刃物等の販売が増加見込み
- ・ 通常国内企業は装置メーカーから部品を購入せず自社調達の傾向が強く、拡大余地は限定的

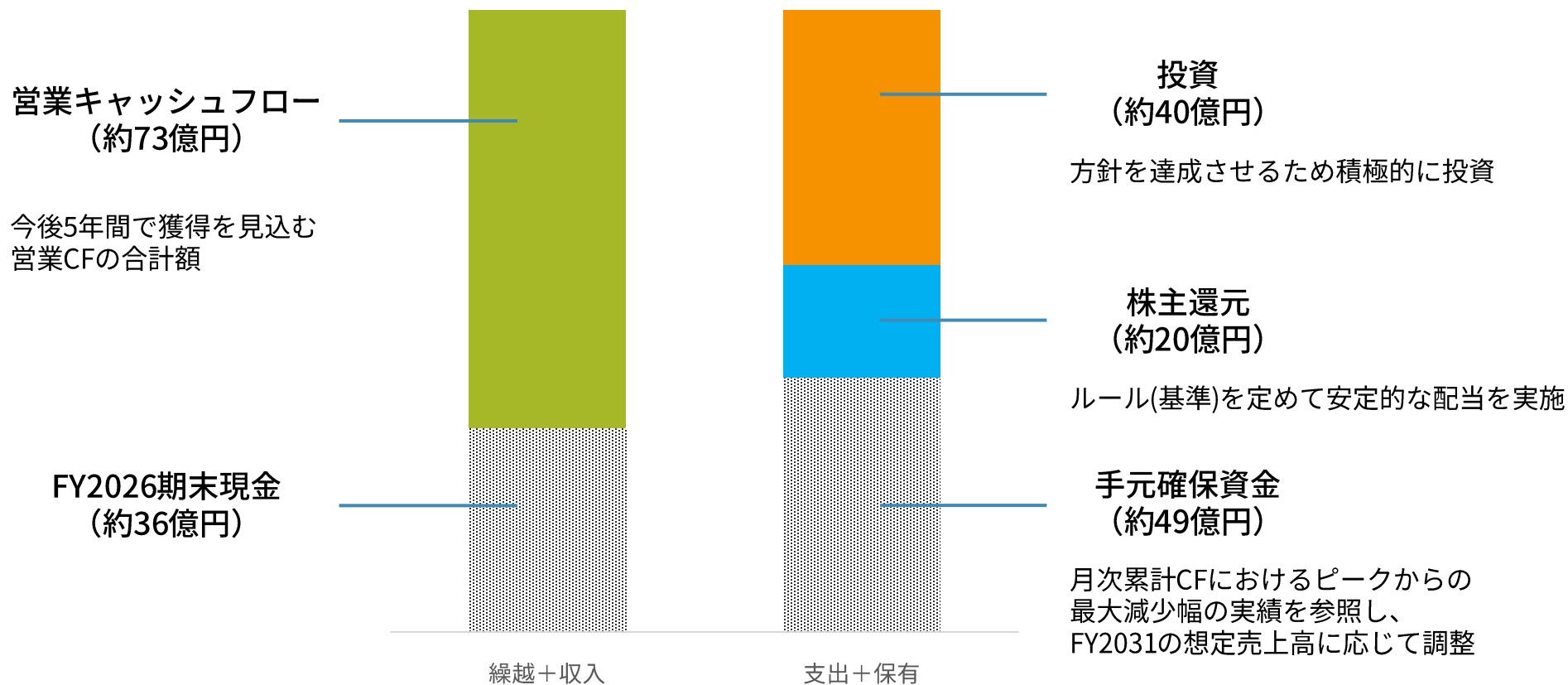
環境関連サービス

トータルは現状を維持、太陽光パネルリサイクル（松山工場での中間処理）を成長させる

- ・ 太陽光発電所検査サービス：減少
→ 竣工検査の減少が想定されることから検査サービスは縮小を見込む
- ・ 太陽光パネルのリユース：減少
→ 中国製の新品パネルが安価で導入可能なことからリユースは縮小を見込む
- ・ 太陽光パネルのリサイクル（中間処理）：増加
→ 大規模発電所へのリサイクル計画提出義務化やリパワリング案件増加等の影響で太陽光パネル排出量増加の見込み
そのことから、当社松山工場における中間処理数を増加させる
- ・ 植物工場ビジネス：微増
→ インフレに伴う値上げや生産量を増やす取り組みを実施、知名度向上や採用活動にも活かす

今後5年間のキャッシュアロケーション

持続的な成長への積極投資と株主還元の推進



投資

資金を3つの領域に配分し、将来の売上・供給力・経営基盤を強化

1

売上を増加させ、利益率を維持する

- ・ R&D（製品力強化、スタンダード製品開発、コア装置の内製化）
- ・ マーケティングの強化
- ・ 仕入サプライチェーンの整理、グローバル展開
- ・ 新市場に対する戦略的投資やM&A

投資額

10億～15億

2

生産能力・供給能力を引き上げる

- ・ 同業の自動機メーカー、金属加工関連企業等のM&A
- ・ 組立委託できる協力工場のネットワーク強化
- ・ 松山工場の設備投資

投資額

20億～25億

3

成長を支えるための経営基盤を整える

- ・ 人的リソースへの投資
- ・ インフラ及びITの強化、整備

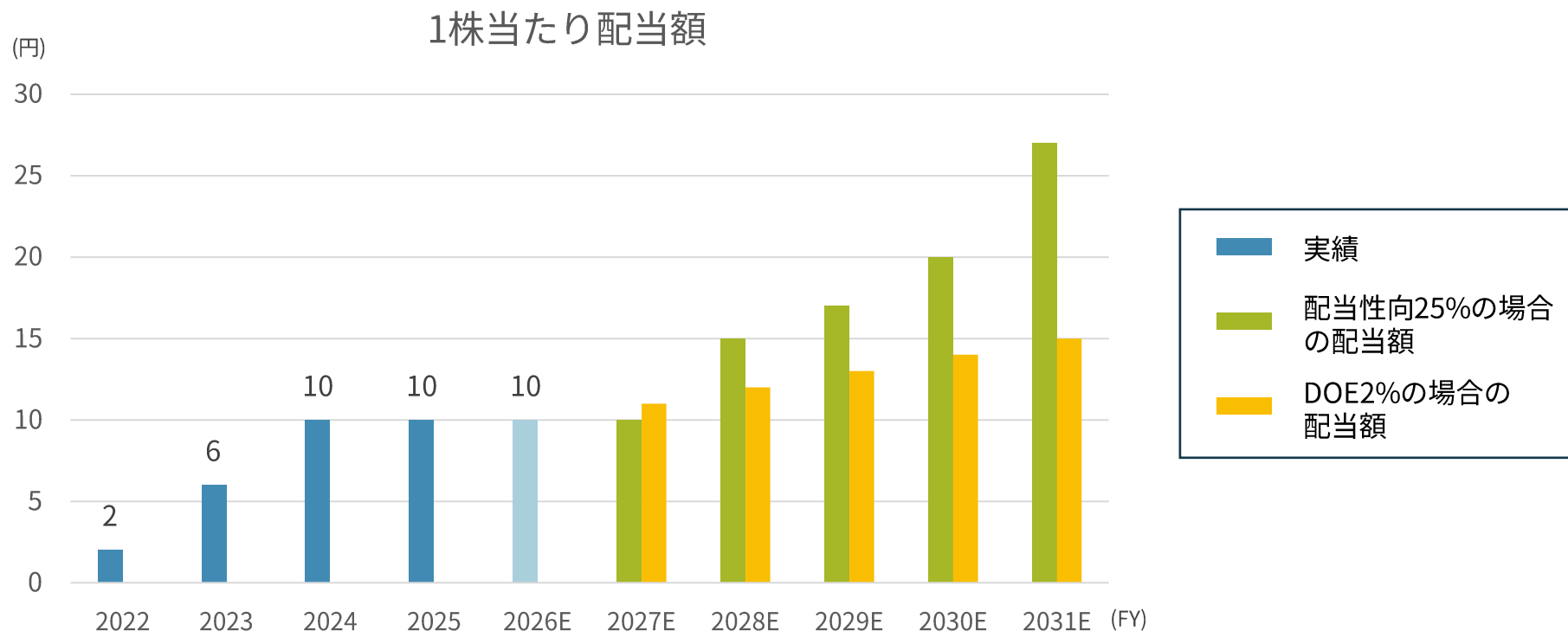
投資額

5億～10億

株主還元

業績連動と安定性を両立させた株主還元

配当性向 25%を基本方針とし、DOE 2% 程度を下限値とした配当政策を実施



2027年8月期業績予想

2027年8月期 業績予想

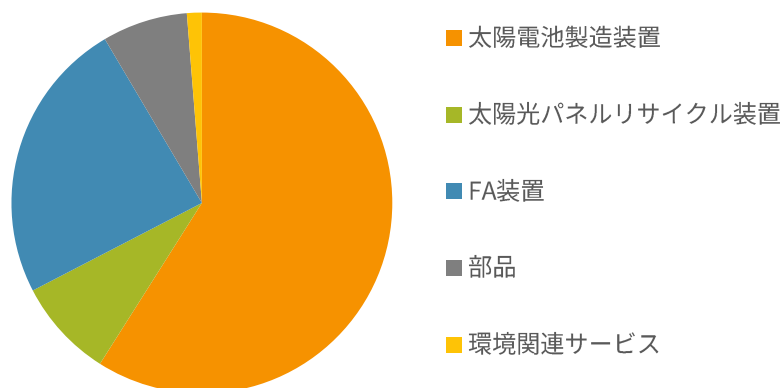
(単位：百万円)

	2026年8月期（実績）				2027年8月期（予想）					
	第2四半期		通期		第2四半期			通期		
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高	1,124	100.0	5,811	100.0	5,055	100.0	349.7	9,895	100.0	70.3
売上総利益	585	52.0	2,025	34.8	1,395	27.6	138.5	2,709	27.4	33.8
販売管理費	578	51.4	1,178	20.3	700	13.8	21.1	1,329	13.4	12.8
営業利益	6	0.5	846	14.6	694	13.7	11,466.7	1,380	13.9	63.1
営業外収益	18	1.6	43	0.7	19	0.4	5.6	41	0.4	△4.7
営業外費用	10	0.9	9	0.2	2	0.0	△80.0	4	0.0	△55.6
経常利益	14	1.2	880	15.1	712	14.1	4,985.7	1,417	14.3	61.0
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	177	3.0	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	14	1.2	702	12.1	712	14.1	4,985.7	1,417	14.3	101.9
親会社株主に帰属 する当期純利益	△49	△4.4	481	8.3	433	8.6	-	826	8.3	71.7

(注) 前期比はその増減比です。

売上高

売上高の内訳



■主な売上案件

- ・ 太陽電池製造装置
 - 国内
 - 大型案件期ずれ分
 - ペロブスカイト太陽電池用ラミネーター
 - ペロブスカイト太陽電池用インクジェット塗布装置
 - 海外
 - First Solar社向け新規装置、移設作業及び改造案件
 - ペロブスカイト太陽電池用インクジェット塗布装置
- ・ 太陽光パネルリサイクル装置 約830百万円
- ・ FA装置
 - 国内電子部品業界向け大型案件、国内自動車業界向け装置
- ・ 部品
- ・ 環境関連サービス、植物工場ビジネス（レタス） 等

株主配当

配当性向基準（25％）に基づく配当額が、下限であるDOE基準（2％）を下回るため、DOE基準（2％）に基づいて1株あたり11.0円を予想とする

本日はありがとうございました

NPCグループは、

「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」
という企業方針に則り、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、地球環境、地域社会等に貢献して参ります。

IR問い合わせ窓口

株式会社エヌ・ピー・シー

総務部 IR担当

電話 : 03-6240-1206

FAX : 03-5817-8835

E-Mail : npc.ir@npcgroup.net

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

IRメールマガジンのご案内

IRメールマガジンで当社の最新情報をお知らせしています

IRメールマガジン登録のメリット



適時開示があった場合、速やかに情報を入手することができます。



月1回配信している「NPC通信」では最新の市場動向等をお知らせします。



不定期で開催している工場見学会等をメルマガ登録者に優先的に早期案内します。

上記以外のお知らせも都度配信しています

■登録方法

- ①当社社員にお声がけ下さい。当社で登録作業を行います。
- ②以下のURLから必要事項を記入の上、ご登録作業をお願いします。

<https://www.npcgroup.net/ir/mail-magazine>

